

平成 28 年 1 月

日書連 MARC をご利用いただいている図書館ご担当者各位

【重要】 日書連 MARC 提供主体及び提供方法変更のご案内

日書連 MARC データセンター
株式会社 教育システム
代表取締役 長尾幸彦
一般社団法人 日本図書館事業協会
代表理事 常世田 良

日頃はソフト司書ツール&日書連 MARC ご利用くださりありがとうございます。標記の件に付き下記の通りご連絡申し上げます。大変お手数をおかけいたしますが事情をご賢察の上了承くださいますようお願い申し上げます。

記

提供主体の変更

日書連 MARC は従来、日本書店商業組合よりデータセンター業務の委託を受けた株式会社教育システムが全ての業務を執り行って参りましたが、その公益性に鑑み、平成 28 年 4 月 1 日より一般社団法人日本図書館事業協会にその業務主体を移管いたします。ただし、サポートデスクや開発の支援は従来通り株式会社教育システムが継続いたします。また、業務移管完了まで債権回収業務も株式会社教育システムが行いますので引き続きよろしく願います。

提供方法の変更

変更する原因

日々の図書データの蓄積によりデータの入れ物であるデータベースファイルがあふれることが増えております。あふれたらその都度、圧縮最適化作業をしていただいておりますが、その頻度がどんどん増えて、最後には圧縮さえできなくなり使えなくなります。(技術的な説明は最後段をご覧ください。)

以上より現在の方法によるデータ配信を、平成 29 年度をもって終了いたします。(終了予定日 平成 30 年 3 月 31 日)

代替手段

新方式の提供については以下の通りです。

- 平成 28 年 9 月 1 日より新方式による提供を開始します。(H28, 29 年度中は現在の方式も継続しますのでいずれも使えます)
- 新方式によるデータ提供の方法は図書館管理システムをインストールした PC がインタ

ーネットにアクセスできることが必要です。

- 新方式による提供も現方式による提供もデータ内容は同様です。
- 図書館管理システム会社にはこの件は通知済みです。各社ともソフトの改修が必要になります。この改修に伴うバージョンアップの方法や経費に関しては弊社ではわかりかねますので、各図書館管理システム各社にお問い合わせください。

【重要】平成 28 年度に行っていたきたいこと

平成 29 年度当初予算で図書館管理システムバージョンアップとインターネットの接続両方の予算の確保をお願いします。

以上

技術的な説明

そもそも日書連 MARC データベースは MS-Access の mdb に格納されております。Mdb ファイルはファイルサイズの上限が 2GB です。また、MDB ファイルは使用に伴いデータベースのファイルサイズが肥大化する性質があります。ですから、使用するうちに大きくなり 2GB を越え利用できなくなるために定期的な圧縮最適化処理を行いコンパクト化することが必要になります。現時点で日書連 MARC の mdb ファイルは圧縮最適化後サイズで 1.7GB を越えました。今後、日々発刊されるデータの追加によってデータサイズは増加するので圧縮最適化の頻度が高まることは必至で、まもなく（3～4 年程度で）実用に耐えなくなる見込みです。

この文章に関する問い合わせ先

株式会社教育システム

電話 052-471-5219

できるだけ電子メールでお問い合わせください。

ksinfo@gakkou.jp